



長谷川たかこ



弱者にやさしく、暮らしやすい 誰からも選ばれる足立区を!

足立区は多様な人が集まる都市部という地の利からもLGBTのみならず、色弱者や視覚障がい者や中国残留帰国者など、いわゆる少数派の特性を持った人であっても、暮らしやすい・誰からも選ばれる足立区を目指すことが重要です。長谷川たかこは、多様性社会の構築に向けた取組みを行い、今後も積極的に国や東京都の補助事業を活用させ、想像力と知恵と工夫をもって実効性ある施策を足立区議会の中から戦略的に展開していきます。



長谷川たかこの積極的な議会提案、請願活動が続々と実現しています!!

令和3年度の新規事業

先駆的な施策はじまる。

とうきょうママパパ応援事業

- ・妊婦全員に育児パッケージとして、こども商品券1万円分の支給
- ・さらに子どもが1歳になったらファーストバースデーサポートとして、こども商品券を支給。第一子1万円分・第二子2万円分・第三子3万円分

産前産後支援

- ①多胎児家庭移動支援として子ども商品券2万4000円分の支給。
- ②デイサービス型産後ケアが4か月未満から1歳未満まで延長されて受けられます。

特定不妊治療費助成支援

特定不妊及び男性不妊治療費が東京都の助成事業の承認を受けた方に対して5万円または2万5千円を上限に上乗せ助成を実現させました。

長谷川たかこも過去に不妊治療を受けており、身に染みてその大変さが分かります！女性は特に肉体的・精神的苦痛が伴うもの。長く治療を続けるには財政的な支援が必要です。

養育費の確保支援

- 離婚時の公正証書作成費用の補助 1人:5000円・1万7000円
- 養育費の支払い支援のため、民間の保証会社と養育費立替契約の初回保証料の補助 1人:5万円

養育費の確保と支援について、2014年から足立区当局へ弁護士らと粘り強く提言。昨年は実績ある事業者を足立区へ招き、各自治体の仕組みや事業手法を当局に説明。7年越しの提言がついに実り、ようやく立ち上げることができました。

小中学生の不登校支援拡充

ペアレントメンターとの連携で小中学生の親子への支援、中学生版のみだったチャレンジ学級を小学生版に整備し直し、小学生の居場所をさらに広げます。

小中学校一人1台タブレット端末

タブレットが全校に導入され、読み書きに困難を抱える子ども達に対する支援が開始。

綾瀬駅前のエリアデザインを最適なものに。

綾瀬地区の図書館づくりを目指します。

綾瀬駅前にみんなが憩えるレストラン&カフェやホールの設置、さらに、旧東綾瀬区民事務所跡地に保健所の移設、図書館の新設も含めた『賑わいある、憩える、勉強ができる』綾瀬の街づくりを目指します。

がん患者・がん体験者・家族支援として緩和ケアを構築します。

がん患者、がん体験者は、病院を離れてからが本当の闘い。医療のみならず日々の暮らしの中で、その後の人生を豊かに過ごし、がん患者、がん体験者、そしてそのご家族が必要と考える支援を構築していきます。

東口に交通広場

《令和3年度》用地取得に向けての計画が本格的に

足立区は綾瀬駅前の交通広場用地の取得に向け、民間開発業者と協議を進めています。取得できた場合は交通広場の整備ほか、エリアを西口にも広げ、まちづくりの方向性を示していきます。



長谷川たかこの政策提言が全国トップレベルの取り組みとして進んでいます!



早稲田大学 マニフェスト研究所
マニフェスト大賞

第5回 最優秀政策提言賞 「行政街づくりへのユニバーサルデザインの導入」
第12回 優秀政策提言賞 「生きづらさを抱えた人」に対する支援事業の構築
第13回 優秀政策提言賞ノミネート 「妊娠・出産・育児等と働き方の両立支援」